

## 一日自治大学校（京都府）アンケート結果

### 《研修評価》

	非常に有意義 であった	有意義であっ た	どちらともい えない	参考にならな かった
府職員	26	47	8	0
市町村等職員	26	46	5	0
計	52	93	13	0
	91.8%		8.2%	

### 《受講者アンケート》

- 神野先生から歴史的転換期における地方分権のあり方の講義を受け、様々な刺激を受けることができた。特に日本人が喪失してしまった「謙譲、心のやさしさ」を取り戻すために地方自治体が「水平再分配」の施策を展開していくことが重要との指摘は今後の方向性を示すものになると考えられる。また、スウェーデンの教科書で教えられている内容—ふるさとへの誇りと愛着の育成—には感動した。
  
- 神野先生のお話は、「なぜ地方分権が必要なのか」について普段聞くことの出来ない内容で、とても有意義でした。「愛情以外の家庭内で必要なサービスを地方公共団体が果たす」ということが、ゆとりある生活につながり、そのために地方分権が必要であるという点は、すごく納得できました。
  
- 地方分権と言われつつ、東京への一極集中が相変わらず解消されていない現状と、それによる問題点が良くわかり、地方分権の必要性を強く感じました。
  
- 地方分権、人材育成、財政運営という地方自治体の今日的課題について、高い見識をお持ちの先生方からの講義を受け、とても有意義であった。
  
- 自治大学校のカリキュラムや経営方針が分かり、人材育成の重要性を再認識できました。また、川口先生の講義につきましては、レジュメが分かり易く参考になったと思います。
  
- 自治大学校で、詳しい講義を受けるだけでなく、こうして地方に来ていただきご講演を賜うことは、今後、地方分権がますます進展していく中で、大変重要になってくると思います。